

真人の風

第 60号(不定期)
(令和 6年3月25日)
(全戸配布)

地域づくり60号

発行: 真人地区町内会長協議会
会長: 瀧澤 功 編集: 渡邊良平
真人ふれあい交流館 Tel. 86-3002

コミバス実証実験

温泉・買物ツアー

ビレッジ・プラン実践委員会
デイホームまっとと共催

3月5日(火)に岩沢地区のコミュニティバスを借用し、公共交通である路線バスとの制約を考慮して企画した温泉と買物ツアーを、ビレッジ・プラン実践委員会とデイホームまっととの共催で「ちぢみの里の温泉とスーパーマルイの買物ツアー」で実施しました。

当日は、岩沢のコミバスが修理に出されておりまして、代車を利用しました。代車は運転手を含めた8人乗りでしたので、自家用車1台を手配してデイホームスタッフ2名含む10名の参加者でした。

コミバスの運行については、前回の買物ツアーに引き続き、石名坂の渡辺良春さんをドライバーに送迎を担当していただき、添乗員を地域づくり担当の渡邊が行いました。

今回の様子について、簡単なアンケートを行いました。サンプル数は少ないですが、傾向は参考となるものでしたので一部を紹介いたします。



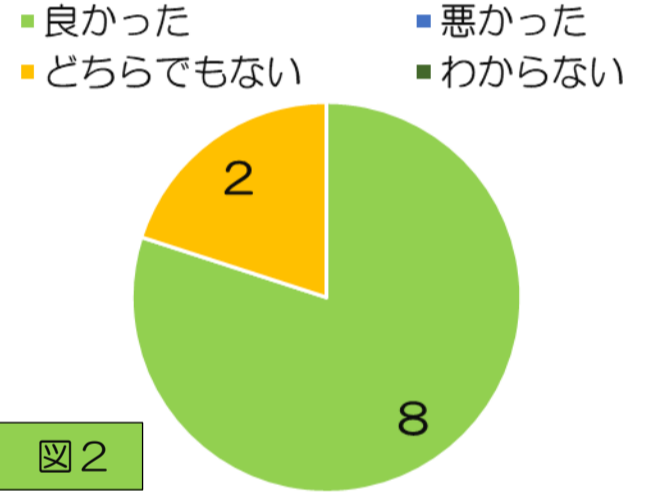
【写真】温泉の個室でゆつゆと楽しみました。(右) 帰りにスーパーで買物をして帰りました。(左)



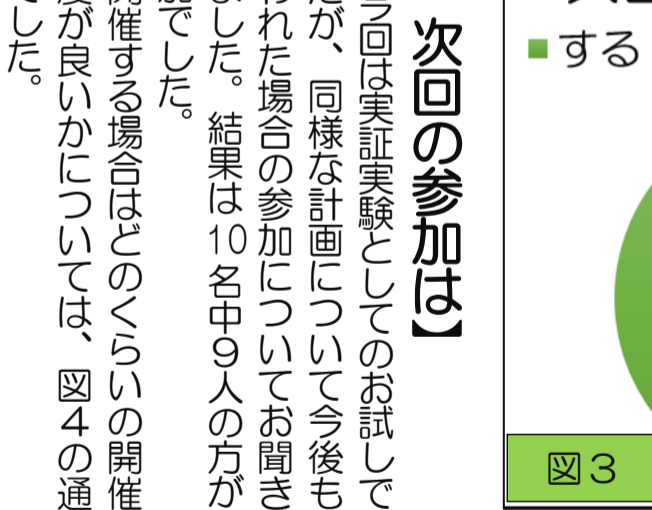
目的を変えてコミバスの運行について実証実験を行いました。提案としてよさこいの活動の送迎(南部地区の子供対象などの子供たちの移動面は色々と考えられるようです。当面は岩沢地区のコミバスが空いている時には使えますが、真人のコミバスは次年度への要検討事項です。

【参加者と感想】
昨年度開催されていたデイホームの「温泉の日」はマイクロバスでの送迎でしたが、今回は、コミュニティバス運転手含む10人乗車での企画でしたので、温泉になじみのある一部の地域にご協力をいただき、お試しでの実施としました。

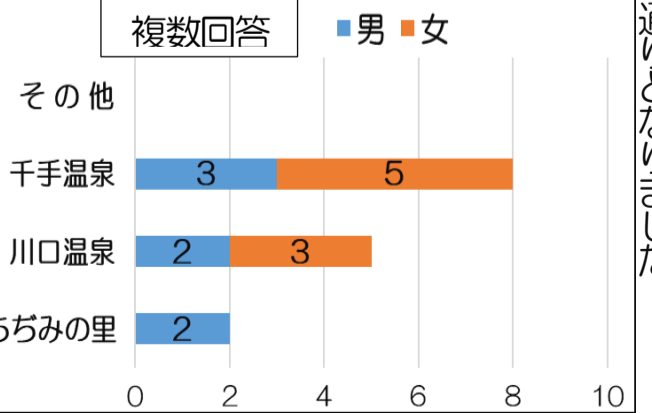
今回の移動支援事業の感想



次回の参加は

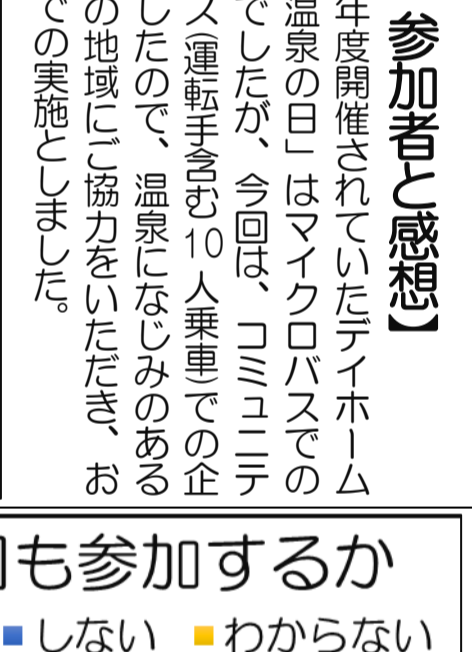


近くの温泉へのお出かけ希望施設



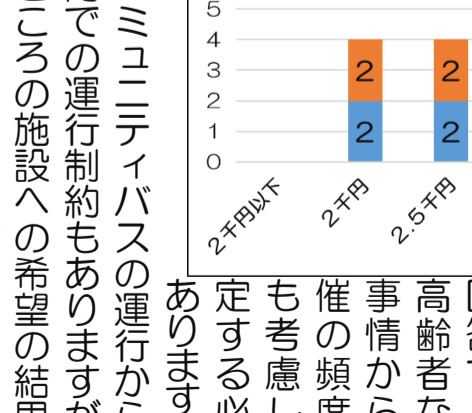
※ ちぢみの里は担当課ですが... 頑張ってください!

参加者



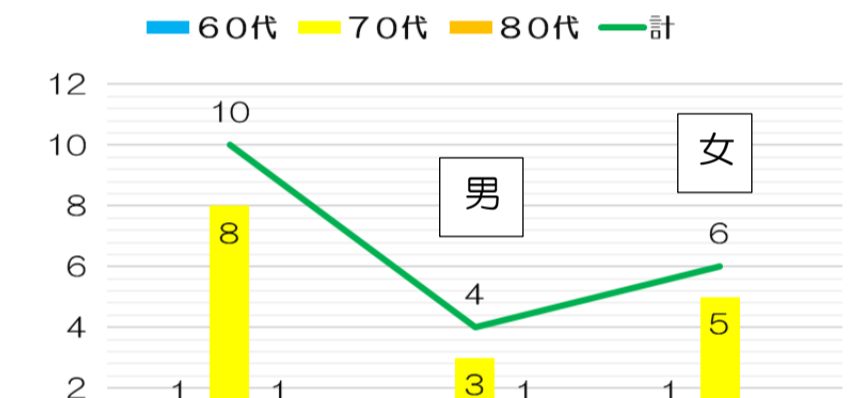
※回答者はデイホームスタッフ2名を含めた回答です。
参加者は図1で示す10名で、男性4人、女性6人の合計10人です。
60代は女性1名、70代では男性3人と女性5人、80代が男性1人でありました。

会費いくらまでなら参加



また、図5の支払う会費について、2千円〜3千円の範囲内での回答でした。高齢者などの事情から、開催の頻度なども考慮して設定する必要があります。

実施の開催頻度は



デイホームで開催したい時には、月に一回の割合で開催されています。今回の参加者では、月に1回は3人、月に2回の開催が5人となりました。

近い温泉への希望施設

コミュニティバスの運行からエリア内での運行制約もありますが、近いところの施設への希望の結果は図6の通りとなりました。

真人里地米PR促進

ビレッジプラン実践委員会

先月の真人の風で、【将来プランにおける「担い手が営農継続できる活動」のひとつとして、地域米のイメージが分かる販促シールとチラシを作成し、地域外の消費者に「まっと米」への興味や理解を深めてもらうとし、各種5百部の印刷を行いました。】と掲載しました。

その後チラシとシールが真人ふれあい交流館に納品され、農家の方に地域外へのPR利用されるように払い出し簿を作成して保管しています。すでに一部の方から利用をいただいております。

ご利用される方は真人ふれあい交流館でお渡しいたします。なお、今回作成成分につきましては、新潟県の農村集落の新たなチャレンジ支援事業の補助事業を活用し、真人米の販促を促すこととしておりますので、希望する方に無料でお使いいただけます。



※作成されたシールの一部です
まっと米
まっと米
まっと米

買物アシスト

冊子発行

ビレッジプラン実践委員会

令和5年度新潟県の農村集落の新たなチャレンジ支援事業の補助事業を活用し、買物支援の冊子を発行します。

3月25日に配布することで予定をしておりましたが、事務局担当の読みが浅く、現在最終打合せを済ませ、配布予定の納品予定となりました。住民の皆様には4月の会報誌と併せて全戸配布予定です。

会報誌では、「移動販売車の状況で運行日や時間が解らない」などに対応したり、ネットスーパーや宅配食の紹介のほか、地域の食についてご紹介をしております。配布されましたら保管をして役立たせていただければ幸いです。

さて、移動販売車ですが集落全てを巡回しているわけではありません。

買物アシスト冊子 (保存版)
 移動販売車・ネットスーパー
 ・宅配食・真人地域の食など

令和6年3月作成
この情報は令和6年2月末現在での掲載となります。

真人町里地振興協議会
 ビレッジプラン実践委員会作成

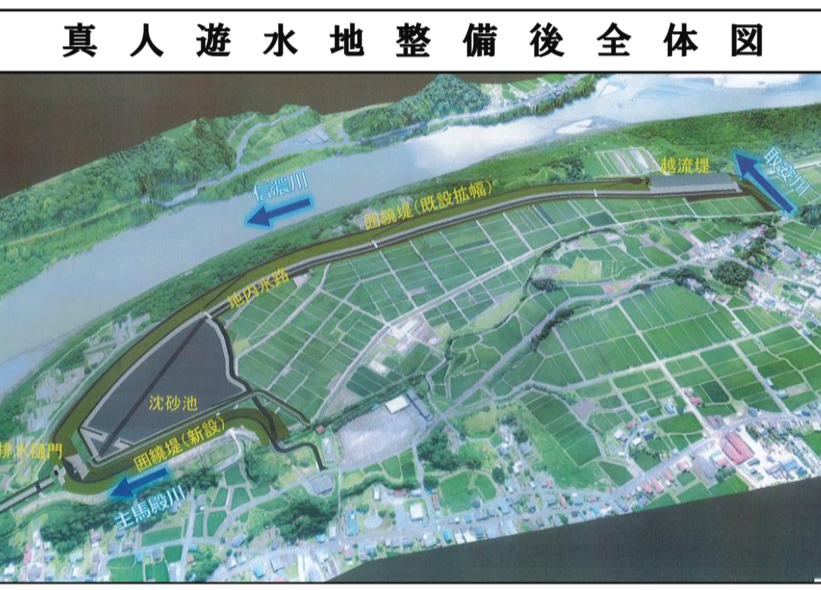
たかのスーパーの移動販売車も、従前の商店を考慮して、いたのか、上沢集落への巡回がないことも見えてきました。皆さん、知っているでしょうか？

真人遊水地説明会

3月2日(土)午後1時30分から真人ふれあい交流館において「真人遊水地整備事業説明会」が、国土交通省北陸地方整備局信濃川河川事務所により開催され、地権者などの関係者と真人里地区の町内会長へ説明が行われました。

説明会では、用地取得箇所において、3月中旬頃より調査を始め、4月末までに施工可能箇所の用水取水施設の仮接続並びに畦畔設置工事を行いたいとし、全体工事の完了目標が当初計画より1年延伸した令和7年度末と示されました。

また、県道から工事場所への接続道路も示され、工事用車両により、家屋への破損が発生した場合に補償が可能となる家屋調査の実施についても説明があり、春以降に実施の予定となっております。



これらのことや事業全体の必要な事項について、住民への周知も必要と考えておりますので、事業者へ会報誌を活用した周知について提案し、申し込みをいたしました。事業者からは4月25日号の会報誌を利用した周知をしたいとの話をいただきましたので、今後内容を詰めていきたいと考えております。

ウェルカム!!

地域おこし協力隊OGの坂本さんの提案を取り入れ、交流館で事務を行って丸山さんの声掛けにより、2月23日(金)・祭日に中山集落に移住してきた、富井親子を囲み、同世代の有志が集まってお茶会が行われました。当日は、都合のある方も多かったため出席者は少なかったものの、初めての試みではありましたが、初めての土地にきた不安などを和らげたり、同じ仲間づくりや相談などへの地域づくりの一環になった取り組みだったと考えます。今後ともバージョンアップされて継続されるといいですね。



ビレッジプラン

岸田支援員異動

岸田課長代理には、ビレッジプランの策定並びに実践を進めるに、助言や活動への支援について2年間お世話になりました。

職場が長岡地域振興局農林振興部普及課小千谷公室であったことから、特に農業部門の取組みについては大変ご尽力をいただきました。四月からは上越地域振興局農林振興部での活躍をご祈念申し上げます。

【岸田さんコメント】「真人の皆さんには、2年間大変お世話になりました。視察に行ったり、地域計画の話し合いに参加させていただいたり、そして旧真人保育園でのイベントは大盛り上がりで楽しい思い出となりました！真人のそばも豆腐もおいしかったな。地域の宝ですね。移動先でもビレッジプランの担当になる予定です。この経験を生かして頑張ります！皆さん、ありがとうございます。ごさいます。



地域計画では率先して取り組みについてご支援いただきました。

真人の風

(令和 6年3月25日)
(全戸配布)

お知らせ版 11号

発行: 真人地区町内会長協議会
会長: 瀧澤 功 編集: 渡邊 良平
真人ふれあい交流館 Tel. 86-3002

わかとち 春山トレッキング

3月10日(日)の午前10時に若栃おっこの木に集合・解散でわかとち春山トレッキングが、若栃未来会議、若栃農家組合の主催で開催され、18名の参加者が春の雪山を楽しんできました。

今年、小雪のために一部のコース変更や出発時間を1時間遅らせての開催となりましたが、前日の積雪などにより思いのほか難儀なコンディションでした。更に全延長8kmに普段運動不足の方は音を上げる状況となりましたが、強者は朝の城山を登ってからの参加者もいました。



今年の雪山には動物の気配もなく、昨年見たリスや一昨年見たウサギの足跡さえ一ヶ所しか見られませんでした。途中遭遇したハンターの方も何もいなかったと話してましたが、恒例の黄色のマンサクの花には癒されました。

トレッキング後は、登録有形文化財の「おっこの木」でお母さん方が作った料理と接待にて、楽しく過ごせる懇親会タイムで盛り上がっていました。今回は、これが楽しみで宿泊もされた方もおられました。



信濃川

サケ稚魚放流

サケ稚魚の放流が2月28日水に東日本旅客鉄道(株)と魚沼漁協協同組合の共催で川井本田地区の信濃川右岸河川敷を会場にサケの稚魚の放流がされました。

例年は南小学校の2年生と4年生が、総合学習として地域の河川環境を学んでいましたが、今年のサケ稚魚の放流数が2倍の5万匹となったことも含め、持続可能な地球環境について総合学習で取り組む東小千谷小学校4年生も参加しました。

放流に先立ち、JR東日本信濃川発電所の担当者から説明を受け、放流する稚魚が北海道の千歳川で産卵されたもので、新潟県さけます増殖協会が人工ふ化し、3〜4cmに成長したものを搬入し、水温を調整して準備がされました。



殖協会が人工ふ化し、3〜4cmに成長したものを搬入し、水温を調整して準備がされました。放流後は遠く北大西洋からベーリング海を回遊し、60〜80cmに成長して生き抜いた02%が川に戻ってくることなどの説明を受け、放流の方法を教えてもらった後に、バケツに移された稚魚を水辺に運んで放流をしていました。

当日はご案内をいただきました。瀧澤功真人町里地振興協議会長も出席して放流をいたしました。



5万匹の稚魚



【お知らせ】

リラックスヨガ中止

デイホームまっと並びに公民館真人分館の共催で開催していたリラックスヨガは、3月6日(水)の開催が最後となり、新年度からは中止となりました。参加いただいた皆様には大変お世話になりました。

交流ホール利用

真人ふれあい交流館の一階交流ホールについては、利用料が無料となっております。利用申し込みがない時には住民の皆様の交流の場として利用ができません。

最近では子供たちの学習の場や趣味の手作り作業の場所としての利用がされています。

但し公共の場所ですので節度のある利用をお願いします。(使用状況によっては、利用をお断りする場合があります。)

交流館の開館時間内での利用となりますので、平日の8時30分～17時まで、利用が可能か事務員に声をかけてご利用ください。

また、会合など計画的に利用する場合や時間外の利用については、従前の通り正式な申込みによりご利用ください。



手作り味噌

真農会恒例の麴づくりが2月5日(月)に行われ、今回はその麴を使った味噌づくりが2月27日(火)に真農会の事務所で行われました。

作られる味噌は自家用のほかに依頼されたものを含め、約320kgを製造しました。



加工した大豆に麴を加え、混ぜた後に空気を抜いて保管します。



※写真上
大豆の加工

また、3月9日(土)には地域の女性で味噌づくりの有志8人が、真人ふれあい交流館を会場に味噌づくりを楽しんでいました。

【編集後記】

①移動販売車編

買い物ツアー終了後、たかのスーパーの移動販売車の車両が故障したとのことで、来月から買物ツアーを実施してほしいとの声が届きました。すぐにマルイ東小千谷店に電話をし、移動販売車「とくし丸」が信濃川対岸の岩沢や下条地区をエリアとして販売していることから、エリア外の真人地区の可能性について問い合わせをしたところ、数日後に火曜日の14時以降なら可能との返事をいただきました。その時点ではたかのスーパーの「フレッシュ配達くん」の再開情報が入ってきましたので具体化はしませんでした。

とくし丸の稼働の現状も、個人事業主が販売しており、相当タイトな状況で、新規の地区への拡大については困難な状況にあり、一日の終了が遅いと商品の返却がスーパーでもリスクとなっている状況が見て取れました。

また、十日町の惣菜屋「ももたろう号」も従前3台の運行がされていたところを、1台が止められたとのことで、3台のエリアを2台でこなしていることか



ら、定点で定時の販売することが時間的な制約となり、現在はお客様さん周りをおこなっている状況にあるとお聞きしました。どちらの車両もお得意さんの軒

先で見るとの利便性があるところでしたが、個人事業主の販売車が確保されないと厳しい状況です。商店がなくなり、加速する高齢化の地域では悩ましい出来事です。

②移動支援 コミバス編

岩沢地域のコミュニティバスの空き時間を利用し、移動支援についての買物ツアーなどの実証実験を行い、利用者の方からは一定の評価を得られ、継続させてほしいとの声もいただきました。また、住民の方からも買物以外の利用についての提案などもいただきました。

コミュニティバスが保有できると、高齢者の移動支援や、子育て世代への送迎など色んな利用が地域で可能となります。



コミュニティバス保有については、行政の理解を得らなければなりません。既存地域での利用状況では手厚い支援をいただいています。当地域への導入を考えた、組織、運営についても検討する必要があります。考えますので、新年度に住民で議論する場を創

③後継者編

地域の中の組織や団体の中でも、後継者へのバトンタッチが難しく、会の運営の廃止や停滞がみられています。

私自身も市役所退職後に2年間を福島県南相馬市と6か月を岩手県久慈市へ、復興支援と災害派遣で中越大地震時に支援いただいたことへのお礼として業務を務めてきました。退職後から年金暮らしまでと仕事を続けたことにより、その後も仕事への従事が続ぎ、健康寿命に手が届く時期にもなり、昨年度に後任にバトンを渡すことをお願いして参りましたが、現在に至りませんでした。働き改革の先頭で走ってきましたが、体力・気力の低下には勝てませんので、365日の日曜日生活を希望しました。

先般3月19日の市役所の人事異動の内示があり、事情により令和6年度も真人地区担当の地域づくり支援員としてお世話になることとなりました。但し、勤務条件については我がままを認めていただき、水曜日を休みとする事でご了解をいただきました。今までも単年度契約の更新でありましたので、令和7年度3月末まで業務に精進してまいります。

無事に勤め上げられますようにご理解ご協力をお願いします。また、農業者の後継者や地域のそれぞれの組織や団体での後継者の育成にそれぞれがご尽力されますようにご期待をいたします。(渡邊)

もっせとホトに

まっせとまっせと